

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【京都府】

学校名【 城陽市立古川小学校 】

1実践テーマ	【I・III・V】
2実施対象者	古川小学校全児童 全11学級 231名 *取組内容によっては、学年を限定して実施
3展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(総合的な学習の時間・学級活動等) ② 行事名() ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4目標(ねらい)	(1) オリンピック・パラリンピックに関する掲示物を通じて、その意義や歴史について知り、オリンピック・パラリンピックへの興味・スポーツへの関心を高める。
5取組内容	(1) オリンピック・パラリンピック掲示板 ・オリンピック・パラリンピックに関わる情報を児童・保護者・地域に広めるための掲示板を設置。<順次情報を追加>「1964東京オリンピックの様子」「ロゴマークの変遷」「マスコットの変遷」「各国のメダル獲得数」「パラリンピッククイズ」等



<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示板を児童昇降口に設置することで、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心が高まり、スポーツへの思いや技術の向上等への啓発ができた。 ・ 1964東京オリンピックの様子を掲示することで、児童だけでなく、保護者や地域の人たちへの啓発もすることができた。 ・ パラリンピックの紹介をすることで、障がい者理解教育にもつながった。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童に分かりやすく説明文をいれたり、児童の目線に写真を掲示したりするなどの工夫をした。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は、掲示板での啓発だけではなく、様々な体験活動を取り入れていきたい。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年の開催までに掲示板の内容を刷新し、新しいニュースを取り入れていきたい。